記者発表資料

平成２６年５月１２日
東 北 地 方 整 備 局

平成２６年度　都市景観大賞

東北から『大賞』１件、『優秀賞』２件受賞！

今般、全国各地からの応募の中から、都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）が選定され、東北から大賞１件、優秀賞２件が受賞することになりました。

【大賞】（国土交通大臣賞）

都市空間部門

地　区　名	地区面積	応　募　者
鶴岡市シビックコア周辺地区 （山形県鶴岡市）	約31.0ha	・鶴岡市 ・馬場町五日町線まちづくり協議会

【優秀賞】（公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞）

都市空間部門

地　区　名	地区面積	応　募　者
小峰城跡・白河駅周辺地区 （福島県白河市）	約20.0ha	・白河市 ・株式会社 楽市白河 ・特定非営利活動法人しらかわ建築サポートセンター

景観教育・普及啓発部門

活　動　名	活動エリア	応　募　者
骨寺村荘園遺跡の景観保全活動を通じた地域づくり事業	岩手県一関市本寺地区（骨寺村荘園遺跡）	・本寺地区地域づくり推進協議会

〈 発表記者クラブ：岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会 〉

〈問い合わせ先〉
国土交通省　東北地方整備局　　電話　022-225-2171（代表）
建政部　計画・建設産業課長　　上原　茂樹　（内6121）
計画・建設産業課長補佐　荒関　　保　（内6132）

別紙

都市景観大賞について

１．目的

国土交通省においては、良好な景観形成の動きを国民運動として全国展開していくための普及啓発活動等を推進しているところです。

また、都市景観に対する国民の意識啓発を目的として、平成２年に毎年１０月４日を「都市景観の日」に定めています。

都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、そのような普及啓発活動の一環として平成３年度から毎年実施されている表彰制度です。

平成２３年度からは、公共的空間と建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、市民に十分に活用されている地区を対象にした「都市空間部門」と、小中学生における景観まちづくり教育、まち歩き、景観に関するセミナーなど、景観に関する教育、意識啓発、知識の普及等に取り組んでいる活動を対象にした「景観教育・普及啓発部門」の２つの部門で「大賞」（国土交通大臣賞）、「優秀賞」などを授与し、さらなる取組の契機としていただくとともに、全国に広く紹介することにより、良好な景観の形成が進んでいくことを目指しています。

２．審査結果

本年度は、全国各地からの応募の中から、別表にあるとおり、【都市空間部門】は、「大賞」３地区、「優秀賞」４地区、「特別賞」１地区が、【景観教育・普及啓発部門】は、「大賞」１団体、「優秀賞」４団体が選定されました。

〇別添１　平成２６年度都市景観大賞受賞地区及び団体の一覧（全国分）
〇別添２　東北管内受賞概要
〇別添３　過去の東北管内受賞地区一覧（平成１６年度～平成２５年度）
〇別添４　募集パンフレット

３．表彰式

「大賞」（国土交通大臣賞）の表彰につきましては、「まちづくりと景観を考える全国大会（仮称）」（６月中旬開催予定、会場未定）で表彰式を行う予定です。

【別添１】

平成 26 年度都市景観大賞「都市空間部門」

受賞地区一覧

「大賞」（国土交通大臣賞）

地　区　名	地区面積	応　募　者
鶴岡市シビックコア周辺地区 （山形県鶴岡市）	約 31.0 ha	・鶴岡市 ・馬場町五日町線まちづくり協議会
篠山城下町地区 （兵庫県篠山市）	約 140.0 ha	・篠山まちなみ保存会 ・篠山市
日向市駅周辺地区 （宮崎県日向市）	約 3.9 ha	・日向市 ・宮崎県 ・九州旅客鉄道株式会社

「優秀賞」（公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞）

地　区　名	地区面積	応　募　者
小峰城跡・白河駅周辺地区 （福島県白河市）	約 20.0 ha	・白河市 ・株式会社 楽市白河 ・特定非営利活動法人 しらかわ建築サポートセンター
狭山スカイテラス（狭山市駅西口地区） （埼玉県狭山市）	約 2.9 ha	・独立行政法人 都市再生機構 東日本再生本部 ・狭山市
加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区 （石川県加賀市）	約 11.0 ha	・加賀市 ・加賀橋立まちなみ保存会
道後温泉本館周辺地区 （愛媛県松山市）	約 26.0 ha	・道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 ・愛媛県 ・松山市

「特別賞」（公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞）

地　区　名	地区面積	応　募　者
行徳地区 （千葉県市川市）	欠真間三角、丸浜川沿い 約 6.0 ha 江戸川第二終末処理場内 約 10.2 ha	・行徳グリン・クリンの会 ・行徳芝桜の会

平成 26 年度都市景観大賞「景観教育・普及啓発部門」

受賞団体一覧

「大賞」（国土交通大臣賞）

活　動　名	活動エリア	応　募　者
人がつなぐ雁木（がんぎ）のまちの歴史景観 （大町（おおまち）小学校６年生の総合学習）	新潟県上越市 上越市高田地区	・特定非営利活動法人 街なみフォーカス ・あわゆき組 ・上越市立　大町（おおまち）小学校（６年生）

「優秀賞」（公益財団法人　都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞）

活　動　名	活動エリア	応　募　者
骨寺村荘園遺跡（ほねでらむらしょうえんいせき）の景観保全活動を通じた地域づくり事業	岩手県一関市 本寺地区 （骨寺村荘園遺跡）	・本寺（ほんでら）地区地域づくり推進協議会
下田（しただ）の杜（もり）における人と自然の景観形成と普及啓発活動	千葉県柏市 下田の杜	・下田（しただ）の杜（もり）里山協議会
ふるさと藤川（ふじかわ） 夢に向かって新世代プロジェクト	愛知県岡崎市 藤川地区景観形成重点地区	・岡崎市立藤川（ふじかわ）小学校
郊外型団地における地域主体の「住宅景観」づくり(維持と啓発)	福岡県北九州市 **青葉台ぼんえるふ地区**	・青葉台（あおばだい）ぼんえるふ団地管理組合法人

【別添２－１】

東北管内受賞概要

【都市空間部門】
「大賞」（国土交通大臣賞）

■地区名：鶴岡市シビックコア周辺地区
■面積：約 31.0 ha　　■所在地：山形県鶴岡市
■応募者：鶴岡市／馬場町五日市町線まちづくり協議会

■地区の概要：

当地区は日本有数の穀倉地帯庄内平野の南、鶴岡市の中心市街地に位置する。庄内藩酒井家の居城であった鶴ヶ岡城跡は、現在『鶴岡公園』として整備され、その周辺は自然・歴史環境と調和しながら学術文化施設の都市機能が集積している。古くから三の丸地区内の武家町であり、明治以降は官庁街として整備され、史跡・文化財である近世から明治・大正の建造物が今なお資料館等として活用され、各時代の本物の建築として保全されている。また、その周辺景観に調和する形で『鶴岡タウンキャンパス』、『鶴岡アートフォーラム』をはじめとする現代建築の学術・文化施設が整備され、時代時代の本物が残る城下町の情景と併せて市民の憩いの場となっている。

また、当地区の南は金峰山・母狩山、北は鳥海山、東は出羽三山に山当てされているため、この眺望景観を保全するための市民意識の高い地区でもあり、住民ワークショップやフォーラムを経て策定された『三の丸地区の景観まちづくりガイドライン』等により山当て景観を保全している。更に、公園周辺では、『鶴岡天神祭』や『荘内大祭』の祭りを中心とした市民活動や、また大学院・高校が建ち並んでいることから、多くの市民・観光客の交流の場として四季折々の賑わいを見せている。鶴岡市の歴史と景観を自然に感じる空間として、市民に愛される空間であることを常に意識した整備をしており、高度地区指定や景観まちづくりガイドラインの策定、まちづくり協定の締結など、住民と行政の長年の努力により市民が誇る中心市街地景観として確立されている。



当地区は鶴岡市役所（撮影箇所）周辺の中心市街地に位置し、南に金峰山・母狩山（写真左奥）を望む。写真右側には鶴ヶ岡城跡の風情を残す堀と共に公園が広がっている。



大宝館は鶴岡公園内の景観と一体となり、春の桜をはじめ、四季折々の魅力を見せる。



アートフォーラム（右建物）西側の池から北向きに大宝館（左奥）が見えるよう設計されている。この景観はアートフォーラム整備前にはない、既存景観との調和する新たな景観として創造された。



致道館外周の塀沿いにはクマザサの植え込みを設け、黒板塀と併せてゆとりある空間を演出している。写真は致道館北側外周で、市役所前通りから西（写真奥に）鶴岡公園が広がる。

【別添２－２】

東北管内受賞概要

【都市空間部門】

「優秀賞」（公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞）

■地区名：小峰城跡・白河駅周辺地区
■面積：約 20.0 ha　　■所在地：福島県白河市
■応募者：白河市／株式会社 楽市白河／特定非営利活動法人 しらかわ建築サポートセンター

■地区の概要：

当地区は、史跡「小峰城跡」と JR 白河駅を中心とする地区で、本市の中心市街地の一画をなしている。400 年来の城下町としての都市構造を残し、「小峰城跡三重櫓」、ステンドグラスと赤瓦が特徴的な大正ロマン漂う「JR 白河駅舎」、市街地に残る貴重な城郭遺構である「小峰城道場門遺構」等の歴史的資源が残る地区である。中心市街地は、定住人口の減少や生活圏の拡大等により賑わいと魅力が失われつつあったが、市による駅前土地区画整理事業の実施や地区計画の導入のほか、各種まちづくり計画に基づく事業の実施により、現在は歴史と文化の拠点となっている。特に、景観計画の策定、中心市街地活性化基本計画や歴史的風致維持向上計画の認定後は、図書館機能、地域交流機能、産業支援機能を備えた「白河駅前多目的複合施設」、「駅前イベント広場」、「コンピエーニュ・白河交流広場」などの文化的施設、「小峰城道場門遺構」等の滞留拠点や歴史的空間が整備された。また、小峰城跡三重櫓への眺望景観に配慮した取り組みも官民連携で進められており、自然、歴史、文化が融合した特徴的な景観が形成されている。また、賑わいの演出や多彩なイベントも行われ、市民が中心市街地に行く頻度はここ数年において増加しており、特に、当地区に整備された白河駅前多目的複合施設の利用頻度は高くなっている。また、歩行者通行量も大幅に増加しており、賑わいの創出に大きな効果を与えている。



当地区は、本市の中心市街地に位置し、史跡「小峰城跡」やJR 白河駅（写真右下）を中心とした地区で、南西側に那須連峰（写真上）を望む。



本市のシンボルである小峰城跡三重櫓と前御門。初代白河藩主丹羽長重により、小峰城の大改修と城下町の整備が行われた。



小峰城跡三重櫓（写真左上）を北側に望み、白河駅多目的複合施設（写真左下）、小峰城道場門遺構（写真中央）、駅前イベント広場（写真右）が一体的に整備されている。



小峰城跡三重櫓への眺望景観に配慮した建物の高さと勾配屋根のデザイン、色彩が特徴的な白河駅前多目的複合施設。本市の新たなランドマークとなっている。

【別添２－３】

東北管内受賞概要

【景観教育・普及啓発部門】

「優秀賞」（公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞）

■活動名：骨寺村荘園遺跡の景観保全活動を通じた地域づくり事業
■活動範囲：岩手県一関市本寺地区（骨寺村荘園遺跡）
■応募者：本寺地区地域づくり推進協議会

■活動の概要：

本寺地区は「骨寺村」と呼ばれた中尊寺の経蔵別当の荘園であり、中世に描かれた 2 枚の絵図の風景が現在も色濃く残る地区である。全国の中山間地と同様に、過疎高齢化の進展はこれまで以上に進んでいくことが予想される中、地元住民は、生産性や効率性を重視する圃場整備よりも、豊かな農村景観を保全する道を選択した。（景観保全と営農改善の両立を目指した景観保全農地整備事業の選択）

地元の想いは、中世より連綿と続く農村景観を良好な形で後世へ継承することこそが、現代を生きる我々の責務であり、使命であるという一点に尽きる。

現在では、地元住民で組織する「本寺地区地域づくり推進協議会」が中心となり、次世代を担う子どもたちや市内外の皆さんと協力しながら、土水路の泥上げ作業や草刈り作業、区画の小さな田んぼでの農作業といった地道な活動と併せて、地域の歴史や文化を活かした魅力あふれる地域づくりを、これからも継続していく。



田植えの体験交流の様子。小さな田んぼで昔さながらの手植えを体験している。



稲刈りの体験交流会の一コマ。今では珍しい手刈りでの稲刈りを満喫している。



交流施設で行う収穫祭。多くの人々でにぎわい、都市と農村の交流の場となっている。



極寒の中、本寺で収穫した農産物を中尊寺まで収める米納め。

【別添３】

過去の東北管内受賞地区一覧

（平成１６年度～平成２５年度）

平成１６年度　美しいまちなみ賞　「特別賞」

地　区　名	受　賞　者
岩出山町　南地区 （宮城県岩出山町（現：大崎市））	・南町商店街事業協同組合 ・宮城県岩出山町（現：大崎市） ・宮城県古川土木事務所(現：宮城県北部土木事務所)

平成１７年度　美しいまちなみ賞　「大賞」

地　区　名	受　賞　者
小坂町　明治百年通り地区 （秋田県小坂町）	・フラワーボランティアの会 ・秋田県小坂町

平成１８年度　美しいまちなみ賞　「優秀賞」

地　区　名	受　賞　者
黒石市　こみせ通り地区 （青森県黒石市）	・津軽こみせ株式会社 ・青森県黒石市

平成１９年度　美しいまちなみ賞　「優秀賞」

地　区　名	受　賞　者
三春町　大町地区 （福島県三春町）	・磐州通り街づくり協定運営委員会 ・福島県三春町

平成２２年度　美しいまちなみ賞　「大賞」

地　区　名	受　賞　者
金山町　金山地区 （山形県金山町）	・金山地域区長サミット ・山形県金山町

平成２２年度　美しいまちなみ賞　「優秀賞」

地　区　名	受　賞　者
会津若松市　七日町通り地区 （福島県会津若松市）	・七日町通りまちなみ協議会 ・福島県会津若松市

平成２３年度　都市空間部門　「特別賞」

地　区　名	受　賞　者
仙台市　定禅寺通地区 （宮城県仙台市）	・定禅寺通街づくり協議会 ・宮城県仙台市

平成２３年度　景観教育・普及啓発部門　「優秀賞」

活　動　名	受　賞　者
建築や都市デザイン手法を用いた景観まちづくり学習	・建築と子供たちネットワーク仙台 （宮城県仙台市）
わくわくタイム（大好き中央台）	・いわき市立中央台東小学校 （福島県いわき市）

平成２５年度　景観教育・普及啓発部門　「大賞」

活　動　名	受　賞　者
子どもが参画する歴史的建造物の景観再生プロジェクト -出会いから震災復興まで-	・建築と子供たちネットワーク仙台 （宮城県仙台市）

※平成２２年度までは、「美しいまちなみ賞」として表彰。
※平成２３年度から、「都市空間部門」と「景観教育・普及啓発部門」の２部門として表彰。

（平成１３年度からの受賞地区につきましては（財）都市づくりパブリックデザインセンターのホームページをご参照ください。　http://www.udc.or.jp/activities/taisho/jushochiku.html）

【別添４】






10月4日は、「都市景観の日」









平成26年度 都市景観大賞

募集期間
平成25年10月4日(金)～12月27日(金)

「都市空間部門」、「景観教育・普及啓発部門」の募集

都市空間部門

街路・公園や公開空地等の公共的空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することよって、地域の活性化が図られている地区を募集します。

景観教育・普及啓発部門

景観に関する教育、意識啓発、知識の普及等を地域に根差して行っており、その取り組みが地域の人々の景観への意識・関心の高揚につながっている優れた活動を募集します。

表彰内容

都市空間部門
①大　賞……１～２地区
②優秀賞……数地区
③特別賞……内容に応じ、適宜選定

景観教育・普及啓発部門
①大　賞……１団体
②優秀賞……数団体

応募先・お問い合わせ先

都市景観の日実行委員会事務局
〒112-0013
東京都文京区音羽2-2-2アベニュー音羽206号
(財)都市づくりパブリックデザインセンター内
TEL 03-6912-0799　E-mail info@udc.or.jp
URL http://www.udc.or.jp

主　催：「都市景観の日」実行委員会
(財)都市づくりパブリックデザインセンター、(公財)都市計画協会、(一社)日本公園緑地協会、(独)都市再生機構、(一財)民間都市開発推進機構、(公社)日本都市計画学会、(一財)都市みらい推進機構、(公社)街づくり区画整理協会、(一社)日本屋外広告業団体連合会、全国景観会議、都市景観形成推進協議会、歴史的景観都市連絡協議会、全国街路事業促進協議会

後　援：国土交通省

事務局：(財)都市づくりパブリックデザインセンター

協賛団体：
(一財)都市文化振興財団、(一財)計量計画研究所、(公財)区画整理促進機構、(公社)日本交通計画協会、(一社)再開発コーディネーター協会、(一社)日本造園建設業協会、(一財)公園財団、(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(公社)日本下水道協会、(公財)自転車駐車場整備センター、(公社)立体駐車場工業会、全国土地区画整理事業推進協議会、都市再開発促進協議会

2013年9月印刷

平成26年度　都市景観大賞

「都市空間部門」、「景観教育・普及啓発部門」について

都市の景観は国民共有の誇りうる財産として、美しく風格のあるものであり、また、地域固有の歴史や風土が尊重され、そこで生活し活動する人々にとって、親しみと敬意の対象とならなければなりません。
都市景観の日実行委員会は、良好な都市景観を育むため、互いに協力しあい、工夫をこらした意欲的な実践に、ともに取り組むことを広く呼びかけ、その一環として平成3年より都市景観大賞を実施しています。
平成23年度からは、下記の通り、「都市空間部門」と「景観教育・普及啓発部門」を創設し、それぞれについて募集しています。

Ⅰ　都市空間部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「都市空間部門」は、良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

① 大賞（国土交通大臣賞）……1～2地区
② 優秀賞……数地区
③ 特別賞……内容に応じ、適宜選定

3. 対象地区の要件

本賞は、街路・公園や公開空地等の公共的空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することよって、地域の活性化が図られている地区を対象とします。単独の公共施設、建築物、構造物は対象になりません。

4. 応募者の資格

良質で優れた都市景観の実現に深く寄与した地方公共団体、まちづくり組織、市民団体、民間企業・コンサルタント、独立行政法人、公社等とします。
※多くの関係者による共同応募が望ましいですが、単独でも応募者になれます。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察）した上で、表彰地区を選定します。

6. 審査委員

委員長	陣内　秀信	法政大学教授
委　員	池邊このみ	千葉大学教授
	卯月　盛夫	早稲田大学教授
	岸井　隆幸	日本大学教授
	佐々木　葉	早稲田大学教授
	高見　公雄	法政大学教授
	田中　一雄	株式会社GKインダストリアルデザイン 相談役
	富田　泰行	トミタ・ライティングデザイン・オフィス代表取締役
	国土交通省	都市局公園緑地・景観課長
	国土交通省	都市局市街地整備課長
	国土交通省	住宅局市街地建築課長

（順不同、敬称略、平成25年9月現在）

Ⅱ　景観教育・普及啓発部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「景観教育・普及啓発部門」は、景観まちづくり学習などの良好な景観に関する意識啓発や知識の普及等を行っている優れた活動を選定・顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

① 大賞（国土交通大臣賞）……1団体
② 優秀賞……数団体

3. 応募対象

小中学校等における景観まちづくり学習の実施や、街歩きや景観に関するセミナーの開催や地域の景観に関する情報発信など、景観に関する教育、意識啓発、知識の普及等を地域に根差して行っており、その取り組みが地域の人々の景観への意識・関心の高揚につながっている優れた活動を対象とします。

4. 応募者の資格

○景観教育や景観まちづくりに関する意識啓発を行っている、学校、まちづくり組織、市民団体、これらの団体を支援している 地方公共団体などで、かつ、
○地域に根差した活動で、3年以上継続して実施している団体

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、ヒアリング）した上で、表彰団体を選定します。

6. 審査委員

委員長	小澤紀美子	東京学芸大学名誉教授
委　員	卯月　盛夫	早稲田大学教授
	大道　博敏	江戸川区平井西小学校主幹
	福井　恒明	法政大学教授
	国土交通省	都市局公園緑地・景観課長

（順不同、敬称略、平成25年9月現在）

応募方法

「都市空間部門」あるいは「景観教育・普及啓発部門」に応募したい方は、それぞれの「応募要領」に従って、指定の応募図書を作成し、平成25年12月27日（金）までに（消印有効）、下記提出先までご送付ください。
なお、「応募要領」（応募図書の様式を含む）は、下記のホームページよりダウンロードしてご利用ください。
URL：http://www.udc.or.jp の都市景観大賞のページ

応募図書提出先・お問い合わせ先

「都市景観の日」実行委員会事務局　都市景観大賞担当　護・南
〒112-0013　東京都文京区音羽2－2－2　アベニュー音羽206号　財団法人都市づくりパブリックデザインセンター内
TEL：03－6912－0799　FAX：03－6912－0930　E-mail：info@udc.or.jp　URL：http://www.udc.or.jp/